

# 事例 3 自宅で生活する E さんの事例

## (1) 利用者のプロフィール

氏名：E さん

性別：女性

年齢：86 歳

生活環境：住宅街の持ち家

要介護度：2

認知症高齢者の日常生活自立度：II b

障害高齢者の日常生活自立度：J - 2

## (2) 生活歴及び家族構成

F 県に生まれた。実家は繁華街で惣菜屋を営み、若い頃は商売を手伝っていた。20 歳代後半でサラリーマンと結婚する。子どもはおらず夫と二人暮らしだった。結婚後、しばらくして家を購入し、現在の住所に移り住んだ。50 歳前後から弁当屋に勤め、調理と献立作成を担当していた。仕事もよくできて上司からの信頼も厚かった。

家族構成：夫とは 15 年ほど前に死別。

子どももいないため、現在は一人暮らし。

兄弟も他界して、血縁者がいない状態。

## (3) 現在の状況

夫が他界したとき、心配になり以前勤めていた会社の社長に任意後見人を依頼した。近所の方が最近の E さんの様子がおかしいので、後見人に連絡が行き、介護保険の利用につながった。

### ■健康状態

#### (1) 身長等

・身長：151 cm くらい

・体重：53 kg くらい

#### (2) 一般状態

・体温：36℃前後

- ・脈拍：70回／分程度
- ・血圧：最高血圧が120～140mmHg
- (3) 障害の状態
  - ・すぐに忘れてしまい、記憶が5分ともたない。昔のことは思い出すことができる。時系列はよくわからない。
- (4) 現在の主な疾患
  - ・アルツハイマー型認知症
  - ・高血圧症
- (5) 既往歴
  - ・不明
- (6) 服薬
  - ・ドネペジルと降圧剤が処方されている。
  - ・飲み忘れがみられ、家のあちこちの引き出しに薬が入れている。
- (7) 精神状態
  - ・社交的だが、1人での様子不明。
- (8) 視力
  - ・日常生活において、支障はない。
- (9) 聴力
  - ・日常生活において、支障はない。

#### ■日常生活の状況

- (1) 移動・移乗、体位変換
  - ・歩行は自立しており、荷物を持って歩くこともできる。
  - ・立位、座位、寝返りも自立している。
- (2) 身じたく
  - ・思い出せば顔を洗い、化粧をしている。
  - ・衣服の着脱は自立しており、着る順番は間違えない。
- (3) 食事
  - ・食事は1人で食べることができる。
  - ・後見人が宅配弁当を手配している。
- (4) 排泄
  - ・自力でトイレに行き、後始末もしている。
  - ・下着の中に挟み込んだと思われるトイレットペーパーがトイレに落ちている。
- (5) 入浴・清潔保持
  - ・古いタイプの浴槽であるため、高さがあり、またぐ際に危険がある。
  - ・髪はべたべたしているように見える。

- ・腕と脛のあたりに爪で皮膚をひっかいた傷がある。
- ・上下とも義歯。下に残歯あり。義歯に黒カビが付いた状態である。
- ・助言がないとみがき残しが多く、歯みがきを忘れることがある。

(6) 睡眠

- ・本人はよく眠れているという。

(7) コミュニケーション

- ・記憶が5分程度しかないが、その場の会話（意思の伝達）は成立する。

(8) I A D L (Instrumental Activities of Daily Living ; 手段的日常生活動作)

- ・目の前に電話番号があれば、電話をかけることができる。
- ・家で調理していない（ガスが使えなくなっている）。
- ・洗濯は、「人には洗ってもらえない。自分でする」と言うものの、洗濯機は使えず、たらいで手洗いしている。洗っているのはパンツとシャツなどの下着類のみ。
- ・菓子などを近所まで買いに行くことができる。
- ・掃除は座敷をときどき箒で掃く程度。掃除機の使い方を忘れている。
- ・布団は敷きっぱなしになっていて、干していない。
- ・生ごみを庭に捨てていることが多い。
- ・週に1回、後見人が受診の付き添いをしている。
- ・通帳は後見人が管理している。本人の手持ちのお金はあるが、いろいろな所にしまい込み、忘れている。

(9) サービスの利用状況

- ・訪問介護（ホームヘルプサービス）を利用（今回初めて介護保険サービスを利用。今後はほかのサービスも検討していく必要があるとの見解）。

■経済状況

- ・後見人が管理しているが、年金等があり、生活に困るような状況ではない。

■性格

- ・てきぱきしていて、なんでもきちんとしないと気がすまない。
- ・せっかちで、他人ができないことやゆっくりしていることを責めるようなときがある。
- ・勝ち気である。

■趣味

- ・習い事などはしていなかった。夫の実家は生け花を教えていたが、自分は苦手だった。
- ・実家の総菜屋を手伝っていたので、調理は得意だった。弁当屋に勤務していたので調理には自信があった。

#### ■ 1日の過ごし方

- ・ 8 畳の居間に座っていることが多い。
- ・ ときどき近所のスーパーマーケットに買い物に出る。
- ・ 以前は隣近所と交流もあったが、最近はない（知っている人は亡くなっている）。

#### ■ 最近の様子

- ・ 調理されないままの魚が冷蔵庫の中にある。
- ・ 弁当を食べていないこともある。弁当が冷蔵庫の中に 3、4 食入っている。
- ・ 菓子パンやせんべいなどの袋がごみ箱にたくさん入っていることもある。
- ・ ガスやレンジの使い方がわからず、お湯も沸かせないので、温かい飲み物を飲んでいない。
- ・ パンツなどが洗濯されないまま置いてあることもある。

#### ■ 本人の思い

- ・ 一人暮らしは不安だが、自分たちで建てた家なので今の場所で暮らし続けたい。
- ・ トイレの介助はされたくない。
- ・ 洗濯は自分でしたい。パンツなどを他人には洗わせられない。
- ・ 実家の家業を手伝ったり、弁当屋に勤めたりして、よく働いてきたと思う。
- ・ 夫は体が弱い人だったのに、よくしてあげられなかった。
- ・ 忘れること、できなくなることが増えてきたという自覚があり悲しい。